

企業理念と経営理念

企業理念

私たちは「求める心とみんなの力」を結集し、
セキュア（安心・確実）な社会の発展に貢献します

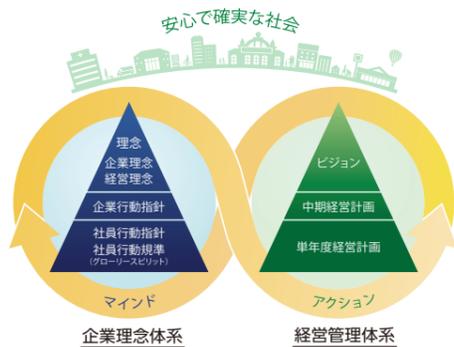
経営理念

- ・絶えざる開発の心で、お客さまから信頼される製品とサービスを提供します
- ・個性の尊重とチームワークにより、活力ある企業グループをつくります
- ・良き企業市民として行動し、社会との共存・共生に努めます



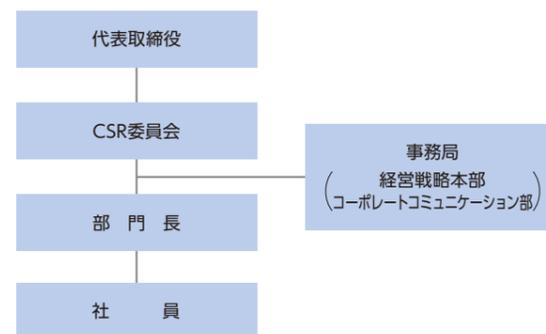
グローリーの考えるCSRとは

当社グループのCSR（企業の社会的責任）は、企業理念を実現していくこと、すなわち、通貨処理機という公共性の高い製品やサービスを通じて、お客さまの効率化、厳正化ニーズに応え、安心で確実な社会の発展に貢献していくことです。



CSR推進体制

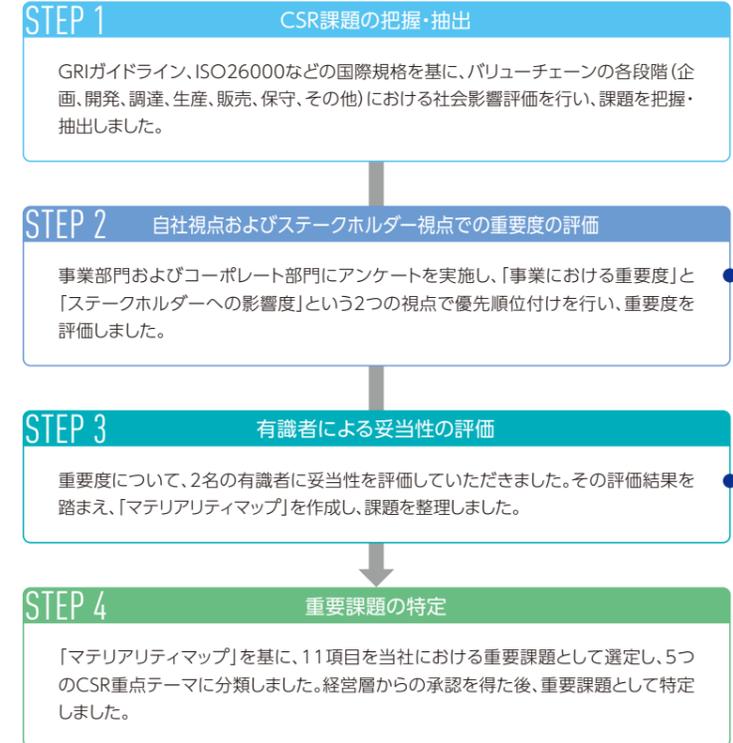
当社グループはCSR経営を推進していくために、経営層から構成される「CSR委員会」を設置しています。委員会は年2回開催し、CSR経営に関する基本方針や基本計画、CSR活動に関する年度重点方針の策定などを行っています。



グローリーのCSR重要課題

当社は、下記のプロセスを通じて、CSRに関する重要課題を特定しました。

● 重要課題の特定プロセス



社内での検討
関係部門の代表者による課題の整理と重要度に関する評価を実施しました。

有識者との対話
MIZUO コンプライアンス&ガバナンス研究所 代表 水尾順一様、京都文教大学 島本晴一郎教授と個別に対話し、自社で評価した重要度について不足がないか、グローリーらしいCSRについてなど、ご助言をいただきました。

MIZUO コンプライアンス&ガバナンス研究所 代表 水尾 順一 様
京都文教大学 総合社会学部教授 島本 晴一郎 様

● 特定したグローリーの重要課題

カテゴリー	CSR重点テーマ	重要課題	2018年度目標
新しい価値の創造 事業を通じた新価値創造		● 業務効率化への寄与に加え、お客さまの事業の発展に貢献するビジネスモデルの構築	● 多様なデータを活用したソリューションの構築
		● お客さまの「信頼できるパートナー」を目指し、定期的な進捗確認と満足度確認のスキームの定着	● モデル顧客を選定し、定期的なレビューを実施
環境 Environment	環境への取り組み	● エネルギー消費量 従業者原単位の改善	● エネルギー消費量従業者原単位 年1%削減(2010年度基準)
		● 新製品のCO ₂ 排出量の削減	● 新規開発製品の省エネ(従来機比) 15%以上削減
		● ステークホルダーとの協働による生物多様性保全活動の推進	● 年次活動計画の実施率100%
社会 Social	人材への取り組み	● 「働き方改革」の推進	● 新たな働き方の実行と検証 ● 業務効率化の推進
		● 事業に資する人材の育成と確保	● 階層別および次世代候補人材の育成
ガバナンス Governance	サプライチェーンにおけるCSRの推進	● グローバルCSR調達の実施	● CSR自主点検チェックリストの継続実施および評価点向上のための活動 ● 海外拠点における活動展開
		● コーポレート・ガバナンスのさらなる強化	● コーポレート・ガバナンス・ガイドラインに沿った施策の推進
ガバナンス Governance	ガバナンスの強化	● リスク管理活動の強化とグループ会社への展開	● グローバル視点でのリスク管理の実施とグループ会社への展開
		● コンプライアンス経営の強化とグループ会社への展開	● 階層別教育の実施、グループ会社との連携強化